

YASUDA SEGUROS S.A.の桑原泰治と申します。私は今年の二月に入社し、前任の永井担当課長からの二か月の引継を経て、現在に至っております。今回相互啓発委員会の一員として視察旅行に参加をさせていただきました。

実は私は三十年前、小学生の頃にブラジルに住んでいたことがあります。父親が旅行を趣味にしていたこともあり、ブラジルのみならず南米各地を旅行しました。しかしなぜかマナウスだけは行ったことがありませんでした。おぼろげな記憶の中でもマナウスはジャングルの真ん中の別世界というイメージがあり、それは現在まで続いておりました。

しかし、社会人としてマナウスの地を踏み、私は心から驚きました。町や車は新しく、人は優しく、そしてサンパウロとの何よりの違いは空気の美味しさです。そして工場団地の大きさといったら想像をはるかに超えるものでありました。

このたびの視察旅行においてホンダ様ソニー様の工場の見学をさせていただきましたが、工場の設備の素晴らしさはもちろんですが、私が一番感じたのはまさに諸先輩の皆様方がご苦労です。日本から遠く離れたマナウスでこれだけ素晴らしい工場をつくり、運営することはどんなに大変なことだったかと思えます。今私はサンパウロに戻っておりますが、普段目にする物の多くがマナウスにある日系各社様によってつくられていると思うと改めて親近感を感じるようになった次第です。

このたびの視察旅行を通じて日系各社様そして日系人の皆様のご努力によって今日のマナウスの発展があると確信をしました。また会員各社の皆様との交流を通じて私の視野も大きく広げることができました。このような貴重な機会をいただきまして心より感謝申し上げます。アマゾナス日系商工会議所、ブラジル日本商工会議所、そして日系社会のますますの発展を祈念して筆を置きたいと思えます。